



学校通信

えがおのさくらっ子

令和7年10月30日
寒川小学校
No. 19



地域の皆様の愛情に育まれて —地域の力が、子どもたちの未来を照らす—



地域の皆様の温かいご厚意により、秋祭りの太鼓台が本校に寄っていただきました。子どもたちは、迫力ある太鼓の音と、地域の方々の笑顔にふれ、目を輝かせていました。また、地域の文化や人とのつながりを学ぶ貴重な体験となりました。ありがとうございました。

10月もはや明日で終わり。どんどん秋が深まり、防寒着が欲しくなる朝夕となりました。2学期も折り返し、子どもたちの学習もどんどん進んでいます。

2学期はどの学年でも地域の方から学ぶ学習がたくさんあります。今日は10月の学びを紹介します。

総合的な学習の時間「すずかけタイム」

4年生 SDGsと福祉～みんなでつくる 優しい未来～

4年生はSDGsと福祉をテーマに様々な人たちと交流し、学びを深めています。



車いすで生活されている方と



共楽園の皆さんと



手話サークルつくしの皆さん



ミツマタ大使 大西満王さんと

高齢者施設「共楽園」との交流や、地域の方々とのふれあいを通して、「誰かのためにできること」を考えてきました。さらに、地域の伝統産業「ミツマタ大使」との出会いから、「地域の宝を未来につなぐ」ことの大切さにも気づきました。それぞれの学びは、SDGsの目標に重なり合いながら、子どもたちの心に「やさしさ」「誇り」「責任感」を育てています。「人を大切にする」「つながりを守る」というSDGsの根っこにある考え方である「思いやり」や「支え合い」の心を育てています。

これからも4年生の交流学習は続いていきます。

総合的な学習の時間「すずかけタイム」

5年生 寒川子ども守り隊～みんなの命を守るために～

27日(月)5年生は、日本赤十字愛媛県支部の方を講師にお招きして、赤十字奉仕団寒川支部、寒川地区社会福祉協議会、四国中央市消防署員、保護者の方々のお手伝いをいただき、「手つなぎ防災ひろば」を実施しました。講話や非常食体験、応急処置の仕方、消火器による初期消火体験などで学びを深めました。講話では、普段は当たり前に行っていることが震災の際にはできなくなることを聞き、必ずやってくる災害に対して、話し合っておくことや備えておくことが重要だと学びました。また、限られた水しかないときのご飯の炊き方、怪我をしたときの応急手当の仕方なども体験したことで、一人一人が命を守るための知識とスキルを向上させることができました。「災害時には想定していないことはできない」と最近よく耳にしますが、本日の学びは、子どもたちにとって極めて高い確率で遭遇する南海トラフ地震への大きな備えとなったことと思います。毎年のように、貴重な学びの場を提供してくださっている地域の皆様に心からお礼申し上げます。



3年生 社会科「スーパーマーケットの工夫を調べよう」



3年生は、10月15日、社会科の学習の一環として、地域のスーパー「木村チェーン」の見学に行きました。お店の中では、商品がどのように並べられているか、働く人がどんな工夫をしているかなど、普段は気づかない“スーパー

のひみつ”をたくさん発見しました。見学後には、「お客さんが買いやすいように並べているんだね」「働く人ってすごい！」など、たくさんの気づきや感謝の気持ちが生まれました。受け入れてくださった「木村チェーン」の皆様、ありがとうございました。

2年生 生活科「電車に乗って図書館へ行こう」



10月3日(金)2年生は、電車に乗って、図書館へ見学に行きました。切符の買い方、乗り方、マナーまで、公共交通の使い方を学びました。

図書館では、たくさんの本に囲まれて、子どもたちの目がキラキラ ✨ 館内のしくみや、本の貸し出しの流れ、働く人の工夫などを教えていただき、「図書館ってすごい！」という声があちこちから聞こえてきました。

地域の皆様の愛情に育まれながら、子どもたちは日々成長しています。これからも、地域とともに歩む学校として、感謝の気持ちを忘れず、学びを深めてまいります。